

施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策	4	生活基盤
主要施策名	21	地域交通
5年後の まちの姿	○道路網の整備と交通手段の確保により、誰もが行きたい所へ気軽に移動できるまちになっています。	
施策展開の 基本的な考え方	行政は、市内における円滑で快適な移動を担保するため、道路交通基盤の整備や維持管理、公共交通の確保に努めます。 市民等は、交通ルールやマナーを守るとともに、道路の維持管理や公共交通機関の利用に積極的に協力します。	
実現に向けた 取組	①広域交通の利便性の向上 ②安全で快適な道路ネットワークの整備 ③冬期の移動を確保する除排雪の実施 ④地域公共交通の利便性の向上と持続可能性の確保	
施策担当課	地域整備課	
施策関係課・係	総合政策課 企画政策係、農林水産課 農林整備係、地域整備課 都市計画建築係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	1,010,070	913,278	1,235,207		
事務事業数	12	9	9		
うち、事務事業評価対象	8	7	7		

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
市道の道路改良率	%	60.79	60.90	60.30	60.33			61.43
のれんす号の延べ利用者数〔年間〕	人	44,724	49,369	51,566	46,811			57,000
成果指標による 現状分析	市道の道路改良率については、令和5年度に黒川地区の図面を路線方式から図郭方式に変更する際に再測量したところ、令和4年度までとの差異が生じることとなったものの、令和6年度は令和5年度と比べて微増となっている。 冬期間において、降雪時の道路状況を踏まえ「のれんす号」の運行所要時間を延ばすシステム設定の変更により、時間帯によっては予約が取りにくい状況が発生し、予約の取りこぼしが見られたことが影響し、前年より減少した。							

3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
評価の理由	◇市道の道路改良率は、令和5年度に実施した黒川地区の再測量によってそれまでとの数値に差異が生じることとなったが、令和6年度も市道の新設等を行ったことで、令和5年度に比べて微増しており、着実に進捗している。 のれんす号の延べ利用者数は、前年度より減少しており最終目標との乖離が拡大している。

4 取組の状況と今後の方向性

① 広域交通の利便性の向上

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・中条駅西口周辺整備により完成した東西自由通路や付帯施設の運営、維持管理に当たっては、学生等の日常的な駅利用者だけでなく、遠方から胎内市を訪れる観光客にも対応できるよう公共交通事業者等と連携して事業を進めます。 ・周辺市町村と連携してJR東日本に対し、列車運行の継続・拡充を要請していきます。
これまでの主な取組と実績
<p>◇利便性が高く快適な公共交通環境を整えるため、中条駅観光交流室を含め施設の一体的管理を指定管理制度により実施していたが、指定管理解除後の令和6年4月1日から各業務を委託し従前と変わらぬ維持・管理を実施。</p> <p>中条駅自動車駐車場の精算機の入替えを令和4年度に実施し、駐車場利用の利便性向上。</p> <p>◇毎年、県、県議会、市長会などで構成する新潟県鉄道整備促進協議会を通して、胎内市を含む沿線市町村等がJR東日本に対し鉄道に関する要望を行っている。</p>
主な課題と今後の対応
<p>◇整備した東西自由通路・駅前広場・中条駅観光交流室について指定管理制度を活用していたが、受託者の都合により令和6年3月31日で指定管理を終了した。4月以降については、当面の間各業務を業務委託にて対応する予定としているが、新たな指定管理者を募集するか、各業務を業務委託とするか、受託者が事業を実施するに当たり継続可能な方策を検討する必要がある。</p> <p>◇引き続きJR東日本に利便性向上に向けた取組や安全に配慮した運行の確保等の要望を行っていく。</p>

② 安全で快適な道路ネットワークの整備

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・平時の利用状況や防災上の重要性等を考慮して市道の整備・改良・維持管理を計画的に行います。 ・国や県に対して国道・県道や橋梁の整備・改良・維持管理が適切に行われるよう働きかけていきます。
これまでの主な取組と実績
<p>◇維持管理については、道路パトロールや区長等から寄せられた情報等をもとに速やかに補修対応を行っている。</p> <p>市道の整備等については、地区要望による工事のほか、道路の交通状況を勘案した工事、通学路の安全点検結果に基づく工事を実施している。</p> <p>◇「橋梁維持事業」については、3巡目の橋梁点検の実施計画（令和7年～令和11年）となる橋梁長寿命化計画を令和6年度に策定した。</p> <p>令和5年度までの点検結果により、令和6年度は橋梁補修工事を5橋実施した。</p> <p>「市道関係整備事業」については、道路の交通状況、通学路の交通安全点検結果及び地域要望に基づく工事のほか、近年の激甚化する風水害における道路冠水対策を実施している。</p> <p>鳥坂大橋の維持管理（橋梁点検、排水施設清掃等）</p>
主な課題と今後の対応
<p>◇市道を整備するに当たり地区要望を勘案しながら、今後は道路の機能を確保するための整備、通学路の交通安全及び激甚化する風水害の発生を見据えた道路冠水対策等の緊急性、必要性の高い路線を整備することが重要であり、そのことについて、適宜地区や住民に理解を求めていく。</p> <p>◇「橋梁維持事業」については、PCBが塗料に使用されている橋梁の最終処分が令和8年度末に迫っていることへの対応が急務となっており、令和6年度に対象橋梁の調査を行った結果、処理が必要な橋梁は2橋と判明した。令和7年度に除去工事を終了する見込み（最終処分は市民生活課で令和8年度に一括で行う予定）</p> <p>「市道関係整備事業」については、道路冠水対策において冠水が発生するメカニズム（地形、排水系統、既存構造物の規格等）を明らかにしないと合理的な解決手段まで至れないため、予算の確保も含めて着実に進めて行く。</p>

③ 冬期の移動を確保する除排雪の実施

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・除雪車による道路除雪を状況に応じ速やかに行います。

<ul style="list-style-type: none"> ・消雪パイプの老朽化対策および集落協働作業の支援等地域の実情に応じて取り組みます。
これまでの主な取組と実績
<p>◇機械除雪によって車道約 260km、歩道約 26 km を令和 6 年度は委託業者 55 業者（令和 4 年度 55 業者、令和 5 年度 54 業者）により実施した。また、令和 5 年度に導入した除雪管理システムによって、除雪の進捗状況をリアルタイムで確認しながら、市民からの問合せや要望への対応速度を高め、道路交通の確保に努めている。</p> <p>◇老朽化した消雪配管の打替え、井戸の掘替え等の更新を実施。</p>
主な課題と今後の対応
<p>◇異常降雪時の対応にも備え、除雪体制の連携強化を図る。</p> <p>◇消雪施設の老朽化により漏水箇所等の不具合が増加しているが、補修可能なものは適宜対応していく。また、消雪施設の更新、新設については工事費が高額となることから、引き続き、緊急性や公益性を見極めながら計画的に整備を行う。</p>

④ 地域公共交通の利便性の向上と持続可能性の確保

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・のれんす号の利便性向上に努め、利用者の増加を図ります。 ・スクールバスによる登下校、高齢者の外出支援や介護施設への送迎その他の交通手段との連携の方策を検討します。
これまでの主な取組と実績
<p>◇パンフレットの全戸配布や集会所、医療機関にポスター掲示の依頼を行った。</p> <p>【令和 5 年度】市内全世帯にのれんす号無料券の配布（利用実績：643 件）、付添人無料化（利用実績：630 件）、市内高校生及び大学生への無料券の配付（利用件数：38 件）</p> <p>【令和 6 年度】付添人無料化（利用実績：727 件）、のれんす号乗り方講座（1 回）</p> <p>◇人口減少、少子高齢化が進行する中で、関係各所と連携し、のれんす号に留まらず全体的な公共交通の在り方について検討していく。</p>
主な課題と今後の対応
<p>◇のれんす号の需要が減少傾向にある中、運行事業者、運営事業者とともに利用者を増やす取組や効率化による収支改善を進め、持続可能なのれんす号の運行に努める。</p> <p>◇胎内市地域公共交通計画に基づき、各公共交通機関と連携して地域公共交通の諸課題に対応していく。</p>

5 施策の今後の方針

施策方針	○維持
施策方針に関する説明	<p>◇道路交通基盤の維持や整備に関しては、定期的なパトロール、橋梁点検や維持補修を実施し、良好な道路状況を維持する。また、冬期間については、除雪委託業者等と連携を図り、効率的な除雪作業を実施し、市民生活の安全・安心を確保する。</p> <p>また、誰もが行きたいところへ気軽に移動できるよう、のれんす号の利便性向上に取り組む。</p>

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R6 事業費	R7 当初予算額	達成度	今後の 方向性	担当課
450110	駅前広場・駐車場管理事業	19,015	49,041	◎	③	地域整備課
450210	鳥坂大橋維持管理事業	98	425	◎	②	農林水産課
450220	道路維持管理事業	177,839	182,266	◎	①	地域整備課
450221	市道関係整備事業	207,228	97,563	○	②	地域整備課
450222	橋梁維持事業	30,702	137,353	-	①	地域整備課
450310	除排雪事業	745,173	369,052	○	②	地域整備課
450411	地域公共交通活性化事業	53,764	54,000	○	①	総合政策課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	450110		担当課	地域整備課	担当係	都市計画建築係	担当者	
事務事業名	駅前広場・駐車場管理事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計
基本政策	4	生活基盤		事業コード	大	45	地域交通	予算科目 款項 目
主要施策	21	地域交通			中	01	広域交通の利便性の向上	
					小	10	駅前広場・駐車場管理事業	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○		根拠法令		
	法令による義務付け		任意					
関連例規				関連計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	中条駅前広場（東西広場・東西自由通路・駅前駐車場・防災広場）の維持運営管理
主な実施内容	・中条駅前広場の、維持運営管理
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	14,993	14,684	19,015	49,041	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績					

3 指標値の状況

産出指標	名称	指定管理者と管理運営方法に関する定例会議の実施	指定管理者と管理運営方法に関する定例会議の実施	関係事業者と管理運営に関する連絡調整を定期的実施	関係事業者と管理運営に関する連絡調整を定期的実施	関係事業者と管理運営に関する連絡調整を定期的実施
	目標	12回	12回	4回	4回	4回
	実績	12回	12回	4回		
成果指標	名称	管理不備による事故発生件数	管理不備による事故発生件数	管理不備による事故発生件数	管理不備による事故発生件数	管理不備による事故発生件数
	目標	0件	0件	0件	0件	0件
	実績	0件	0件	0件		
	目標比	0件	100%	100%		

6 事業の課題

[Blank area for business issues]					
----------------------------------	--	--	--	--	--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	③		

課題解決に向けた今後の取組					
[Blank area for future measures]					

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
削減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	450210		担当課	農林水産課	担当係	農林整備係	担当者	
事務事業名	鳥坂大橋維持管理事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款 06 農林水産業費
主要施策	21	地域交通		中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備	項	01 農業費
				小	10	鳥坂大橋維持管理事業	目	09 農地費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意					
関連例規				関連計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	鳥坂大橋の維持管理を行い、機能と安全を確保する。
主な実施内容	・街灯電気料 ・照明柱塗替工事
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	◎		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
[Blank area for evaluation reasons]					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	7,639	190	98	425	
単位コスト	算出方法				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度

3 指標値の状況

産出指標	名称	清掃・修繕件数	清掃・修繕件数	清掃・修繕件数	清掃・修繕件数	清掃・修繕件数
	目標	0件	0件	1件	1件	1件
	実績	0件	1件	1件		
成果指標	名称	維持管理の実施率	維持管理の実施率	維持管理の実施率	維持管理の実施率	維持管理の実施率
	目標	0件	0%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	100%		
	目標比	100%	100%	100%		

6 事業の課題

平成30年度から令和元年度までの2か年で実施した耐震診断において、橋台、橋脚が部分的に耐震性能が不足している結果となり、橋梁全体の健全度としては、問題はないが耐震性について対策が必要となる。耐震化については施工計画や仮設設計や土工を含まない当時の概算工事業費が4億円近くであるため、事業費の確保が大きな課題である。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	②		

課題解決に向けた今後の取組

平成3年9月に竣工した当該橋梁は、2級河川胎内川に架かる橋梁で、当該農道は国道7号に並行して胎内市から村上市境まで大型車を含む多くの車両に活用される重要路線である。当該橋梁の耐震補強工事を実施するには、設計委託、工事費及び現場監理費等莫大な経費が必要になることが想定される。これらについて総合的に考慮すると、市単独で実施することは技術面や金銭面等から難しいと考えることから、県営事業として事業推進することが可能かどうかについて、新潟県と相談を行っていきたい。

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	450220		担当課	地域整備課	担当係	管理係	担当者	
事務事業名	道路維持管理事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計
基本政策	4	生活基盤		事業コード	大	45	地域交通	
主要施策	21	地域交通			中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備	
					小	20	道路維持管理事業	
事務区分	法定受託事務		自治事務	根拠法令	道路法			
	法令による義務付け		義務					
関連例規				関連計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市道の不具合を、道路パトロールによる発見や地区区長・住民からの連絡を受けた際、現場確認・応急処置を行い業者等による補修を行う。
主な実施内容	・市道の維持管理
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
[Blank area for evaluation reasons]					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	39,050	135,770	177,839	182,266	
単位コスト	算出方法				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績				

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕
	目標	①120件 ②40件	①120件 ②40件	①120件② 40件	①120件② 40件	①120件② 40件
	実績	① 90件 ② 27件	①124件 ②91件	①69件②33 件		
成果指標	名称	道路維持に関する苦情等の初期対応率	道路維持に関する苦情等の初期対応率	道路維持に関する苦情等の初期対応率	道路維持に関する苦情等の初期対応率	道路維持に関する苦情等の初期対応率
	目標	99%	99%	99%	99%	99%
	実績	95%	96%	99%		
	目標比	95.9%	96.9%	100%		

6 事業の課題

道路の経年劣化、老朽化に伴い、補修箇所及び大規模改修箇所が増加傾向にある。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	①	①		
課題解決に向けた今後の取組					
可能な範囲での直営補修によって経費軽減を図りつつも、道路の機能維持、安全性確保の観点から、補修に要する費用を増額する必要がある。					

8 二次評価委員会所見

改善等事業計画を作成し、効果的に事業推進を行うこと。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	450221		担当課	地域整備課	担当係	土木係	担当者		
事務事業名	市道関係整備事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計	
基本政策	4	生活基盤		事業コード	45	地域交通		予算科目 項 目	
主要施策	21	地域交通			02	安全で快適な道路ネットワークの整備			08 土木費
					21	市道関係整備事業			02 道路橋梁費 03 道路新設改良費
事務区分	法定受託事務		自治事務		根拠法令	道路法			
	法令による義務付け		任意						
関連例規				関連計画					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	道路の交通状況、通学路の交通安全点検結果、防災・減災及び地域要望等を勘案し、生活道路である市道等の安全性や利便性の向上を図るための整備を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・用地補償測量設計 ・道路改良工事 ・道路新設工事
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	◎	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
/					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	150,833	161,413	207,228	97,563	
単位コスト	算出方法 ・通学路合同点検の要改善箇所に至った事業費/ 通学路合同点検の要改善箇所着手数 ・防災・減災等の必要箇所に至った事業費/ 防災・減災等の必要箇所着手数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績			(通学路) 7,639千円/ 箇所		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	当該年度に実施した工事箇所数	・通学路合同点検の要改善箇所着手数 ・防災・減災等の必要箇所着手数	・通学路合同点検の要改善箇所着手数 ・防災・減災等の必要箇所着手数	・通学路合同点検の要改善箇所着手数 ・防災・減災等の必要箇所着手数	・通学路合同点検の要改善箇所着手数 ・防災・減災等の必要箇所着手数
	目標	12箇所	・3箇所 ・3箇所	・3箇所・3箇所	・3箇所・3箇所	・3箇所・3箇所
	実績	15箇所	・4箇所 ・4箇所	・3箇所・3箇所		
成果指標	名称	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数	・通学路合同点検の要改善箇所着手率 ・防災・減災等の必要箇所着手率	・通学路合同点検の要改善箇所着手率 ・防災・減災等の必要箇所着手率	・通学路合同点検の要改善箇所着手率 ・防災・減災等の必要箇所着手率	・通学路合同点検の要改善箇所着手率 ・防災・減災等の必要箇所着手率
	目標	50%	・30% ・50%	・30%・50%	・30%・50%	・30%・50%
	実績	43.5%	・57% ・60%	・30% ・42.8%		
	目標比	87%	・190.0% ・120.0%	・100% ・85.6%		

6 事業の課題

引き続き、地区要望を勘案した市道の整備を進めるとともに、通学路の交通安全を確保するための整備や近年の激甚化する風水害等の発生を見据えた道路冠水対策等のインフラ強化も併せて進める必要がある。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	③	②		

課題解決に向けた今後の取組
 ・道路の交通確保、通学路交通安全対策や生活環境改善など地域の実情に根差した市道整備として今後も継続して本事業を進めていく。
 ・洪水等の自然災害から人命・財産の被害の防止や最小化するために、地形、排水系統を調査し水害のメカニズムを解明し道路冠水対策を進めていく。
 ・事業費確保のため、補助金等の特定財源を活用し事業を進めていくとともに、引き続き国県への要望を行う。

8 二次評価委員会所見

/					
---	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	450222		担当課	地域整備課	担当係	土木係	担当者	
事務事業名	橋梁維持事業			事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計
基本政策	4	生活基盤		事業コード	大	45	地域交通	
主要施策	21	地域交通			中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備	
					小	22	橋梁維持事業	
事務区分	法定受託事務		自治事務	根拠法令	道路法			
	法令による義務付け		義務		橋梁長寿命化修繕計画			
関連例規				関連計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	橋梁点検を定期的に行い、損傷した箇所を補修し、その機能と安全を確保する。
主な実施内容	・市道橋の維持管理 ・橋梁延長15m以下を対象に年次点検を実施 ・橋梁修繕工事
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎	◎	-		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	21,463	25,432	30,702	137,353	
単位コスト	算出方法 ・橋梁点検に要した事業費/年次橋梁点検を実施した数				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績			6,170千円/1橋（令和6年）		

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	橋梁数	橋梁数	橋梁数	橋梁数
	目標	290本	290本	290本	290本
	実績	287本	287本	287本	
成果指標	名称	年次点検橋梁数	年次点検橋梁数	橋梁修繕計画策定年	年次点検橋梁数
	目標	96本	96本	-	65本
	実績	94本	67本	-	
	目標比	100%	69.8%	-%	

6 事業の課題

第1次国土強靱化実施中期計画において要措置橋梁の修繕完了率が令和12年度までに80%と示された。また、PCBの処分期限が令和8年度のため、それまでに塗膜除去工事を終えなければならない。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	①	①		
課題解決に向けた今後の取組					
・国の国土強靱化実施中期計画で示された目標を達成するため、令和12年度までに30橋の橋梁を計画的に修繕する。 ・PCB除去工事の実施（令和7年度2橋）を予定。					

8 二次評価委員会所見

改善等事業計画を作成し、効果的に事業推進を行うこと。

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	450310		担当課	地域整備課	担当係	管理係	担当者
事務事業名	除排雪事業		事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大 45 地域交通	予算科目	款	08 土木費
主要施策	21	地域交通	中 03 冬期の移動を確保する除排雪の実施	項		02 道路橋梁費	
			小 10 除排雪事業	目		02 道路維持費	
事務区分	法定受託事務	自治事務	〇	根拠法令	道路法		
関連例規	法令による義務付け		義務	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市道路除雪計画を策定し、その計画に基づき除雪作業を実施し、降雪時における道路交通を確保する。
主な実施内容	・市道等除排雪
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	○		

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

[Blank area for evaluation reasons]					
-------------------------------------	--	--	--	--	--

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	537,827	452,609	745,173	369,052	
単位コスト	算出方法				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度

3 指標値の状況

産出指標	名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標	①257.4km ②41km	①257.4km ②41km	①257.4km ②43km	①257.4km ②43km	①257.4km ②43km
	実績	①259.9km ②42.1km	①257.4km ②43.8km	①257.9km ②45.4km		
成果指標	名称	市道路除雪計画に基づく除雪完了率	市道路除雪計画に基づく除雪完了率	除雪完了目標時刻に対する除雪完了率	除雪完了目標時刻に対する除雪完了率	除雪完了目標時刻に対する除雪完了率
	目標	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	99%		
	目標比	100%	100%	99%		

6 事業の課題

除雪量が多い時に除雪完了予定時刻に遅れが生じ、交通に支障をきたすことがある。融雪施設の経年による機能低下が見られ大規模改修が必要な施設について、更新が追いついていない。
--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③	③	②		

課題解決に向けた今後の取組
除雪システムのデータも活用し、除雪完了予定時刻に可能な限り遅延がないよう除雪体制を調整する必要がある。社会資本整備総合交付金を活用しながら、融雪施設の更新を行っていく必要がある。

8 二次評価委員会所見

[Blank area for secondary evaluation committee findings]					
--	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和6年度事業）

事業コード	450411		担当課	総合政策課	担当係	企画政策係	担当者			
事務事業名	地域公共交通活性化事業		事業年度	令和6年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	予算科目	款	02	総務費	
主要施策	21	地域交通		中	04			地域公共交通の利便性の向上と持続可能性の確保	01	総務管理費
				小	11			地域公共交通活性化事業	06	企画費
事務区分	法定受託事務	自治事務	〇	根拠法令						
	法令による義務付け			任意						
関連例規			関連計画	胎内市地域公共交通計画						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	デマンドタクシーを中心とした公共交通ネットワークを整備し、多様な人々の移動と交流を支援する。
主な実施内容	・地域公共交通協議会への負担金
実施方法	市が直接実施+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					

評価の理由、事業の課題、及び課題解決に向けた今後の取組については、達成度や今後の方向性等を踏まえ記載しています。

5 評価の理由（達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載）

達成度が×又は2年連続で△以下の場合に記載					
(Empty area for evaluation reasons)					

2 事業費の状況（令和6年度以前は実績値、令和7年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	61,000	61,000	53,764	54,000	
単位コスト	算出方法				
	負担金/デマンドタクシー延べ利用者数〔年間〕（千円）				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	1.2千円	1.2千円	1.1千円		

3 指標値の状況

産出指標	名称	デマンドタクシー1日平均運行回数	デマンドタクシー1日平均運行回数	デマンドタクシー1日平均運行回数	デマンドタクシー1日平均運行回数	デマンドタクシー1日平均運行回数
	目標	36回	36回	36回	36回	36回
	実績	36回	53回	60回		
成果指標	名称	デマンドタクシー1日平均利用者数	デマンドタクシー1日平均利用者数	デマンドタクシー1日平均利用者数	デマンドタクシー1日平均利用者数	デマンドタクシー1日平均利用者数
	目標	150人	150人	150人	150人	150人
	実績	137人	143人	130人		
	目標比	91.3%	95.3%	86.7%		

6 事業の課題

予約システムをAI配車対応のものに入れ替え、乗り継ぎなしの運行に変更した。システム変更に伴う不都合は、そもそも配車数の減少も関係するが、システム調整して対応していく。引き続き、運行事業者及び協議会で「のれんす号」利用者の声や課題を常に共有し、交通空白の解消に努めていく。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	①	②	①		
課題解決に向けた今後の取組					
タクシーが不足する時間帯における移動手段の確保に係る要望があることから、公共ライドシェアの実証実験を行い、今後の交通空白時間の解消方法を図る。					

8 二次評価委員会所見

改善等事業計画を作成し、効果的に事業推進を行うこと。

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	⑥
	縮小	⑥	⑦	⑧
	休廃止	⑦	⑧	⑨
削減	⑧	⑨	⑩	
コスト投入の方向性				